

平成 2 4 年 度

教 育 委 員 会  
定 期 監 査 報 告 書

笛 吹 市 監 査 委 員

## 1 監査の対象

教育委員会に係る財務に関する事務の執行状態並びに事業の管理状態について監査を実施。

## 2 監査基準日・監査の範囲

平成24年9月30日現在の財務及び事務に関すること

## 3 監査の実施日

教育委員会	教育総務課	平成24年11月1日	午前9時から
〃	生涯学習課	平成24年11月1日	午前10時30分から
〃	学校教育課	平成24年11月1日	午後1時30分から
〃	文化財課	平成24年11月1日	午後3時から
〃	図書館	平成24年11月1日	午後4時から

## 4 監査の方法

監査の対象となった一般会計の下記項目について、教育委員会から提出された資料に基づき説明聴取を行うとともに、関係帳簿、証憑書類の突合及び計算突合等により関係諸記録を相互に付き合わせ、その記録又は計算の成否を確かめた。

1 「平成23年度定期監査等指摘要望事項措置状況報告書」

2 「職員の事務分掌表」

3 「主要事務事業の概要」

4-① 「懸案事項及び業務に関する問題点」

4-② 「指定事項調書」

【教育総務課】

①市内小中学校教室空調設備設置の進捗状況について

【生涯学習課】

①青少年育成事業（愛のパトロール、白ポスト回収、強調月間等）の進捗状況について

②国民文化祭開催に向けての進捗状況について

【学校教育課】

①通学路の危険箇所の状況把握と今後の改善予定等について

【文化財課】

①史跡甲斐国分寺跡・国分尼寺跡保存整備事業の進捗状況について

【図書館】

①図書館情報システム整備後のメリット、デメリットについて

5-① 「委託契約（一般委託）（予定）調書」

5-② 「委託契約（工事関連委託）（予定）調書」

6 「負担金補助及び交付金支出（予定）状況調書」

7 「工事請負実施関連（予定）調書」

8 「公有財産購入に関する調書」

9 「歳入状況調書」

- 10 「歳出状況調書」
- 11 「滞納状況調書」
- 12 「賃貸借に関する調書」
- 13 「指定管理施設に係る修繕費の状況」
- 14 「郵便切手受払状況」  
交際費支出状況調書

## 5 監査の着眼点

監査にあたり次の点に着眼し監査を行った。

- ・ 事務事業が法令、条例規則等に則り適正に行われているか。
- ・ 住民サービス向上の観点から、現行の事務事業が適正なものか否か。
- ・ 歳入歳出予算の執行が適切に行われているか。
- ・ 契約事務の手続は適切か。

## 6 監査の結果

### (1) 予算・財務に関する事務

平成24年9月30日現在における教育委員会から提出された一般会計歳入歳出状況調書の金額は、監査の結果関係諸帳簿等の記載金額と一致し適正に執行されていた。支出伝票関係については、検査の結果適正に処理されていた。なお、郵便切手は学校教育課で該当があったが、受払状況については、切手保管枚数と受払簿に相違なく、受払が適正に行われていたことを確認した。

### (2) 事務・事業の執行状況

教育委員会に係る主な事務事業の執行については、良好であると認められる。なお、監査において気がついた点を後述するので、今後適切な措置を講じられたい。

## 7 指摘・要望事項

生涯学習課	事務事業	①指定管理委託施設に係る修繕費の費用負担については、協定に定められている内容に従い、各事案についてよく精査する中で市と指定管理者で協議を行い、指定管理料の中で管理されるべきものについては、指定管理者の費用負担により行われるよう指導徹底を行うこと。
		②国民文化祭については、笛吹高校にも参加を働きかけて、事業への協力をしていただきながら、文芸意識を一層高める良い機会であると思うので、強く呼びかけるべきである。
学校教育課	事務事業	①いじめ対策については、迅速な対応が取られる体制整備に努められたい。

		②通学路の安全対策について、市内の小河川などの危険箇所における現地確認を行い、万が一の危険を考えた対応策を講じられたい。
		③小中学校情報セキュリティ対策事業については、各契約において、できるだけ競争原理を働かせ、経費節減に努められたい。
文化財課	事務事業	①史跡甲斐国分寺・尼寺跡保存事業について、東京から近い位置の優位性、また観光の面からも、県や国へ働きかけることにより実現可能な文化財活用などの施策については、今後積極的に検討されたい。
		②青楓美術館については、新聞広告への掲載など PR 方法の工夫についても研究されたい。
図書館	事務事業	①辻村深月さんなどの「郷土作家」の調査、紹介などについては、市の財産として、図書館を中心に積極的に取り組まれたい。

## 8 前年度定期監査等指摘要望事項に対する対応措置について

平成23年度定期監査において指摘された事項については、以下のとおりその対応措置が示された。

### 【教育総務課】

#### 《指摘要望事項①》

ふるさと雇用再生特別基金事業について、平成23年度で事業が終了するということがであるが、雇用状況が悪い中、今後も地域求職者等を雇い入れる雇用機会を創出できるような事業が展開できるよう、各課とも連携しながら検討を行うこと。

#### 《対応措置の内容》

平成21年度からふるさと雇用再生特別基金事業でふえふき文化・スポーツ振興財団に2名の臨時職員を雇用し人件費等に活用しておりました。この事業により多くのイベントを開催することができ、ふえふき文化・スポーツ振興財団が市内へ浸透してきており継続雇用をした体制づくりが必要と思われました。このような事から平成24年度につきましては、引き続き臨時職員賃金を文化スポーツ振興事業補助金として予算計上済みであります。

#### 《伝票について指摘要望事項①》

検査調書の特記欄には立ち会った職員、業者名を記入しておくこと。

#### 《対応措置の内容》

指摘のとおり職員、業者名を記入しています。

### 【生涯学習課】

#### 《指摘要望事項①》

国民文化祭の開催に向けて、蛇笏・龍太の里である境川の山廬を見学させていただく機会もあると思うが、雰囲気が出るような周辺の整備について努力すること。また、国民文化祭の準備に遅れが生じないよう、専任部署の設置については、事業の推進に向け引き続き検討を行うこと。

#### 《対応措置の内容》

平成23年8月、境川町小黒坂地内に、山廬に向かう誘導看板を3ヵ所設置した。

平成24年4月、教育委員会生涯学習課内に国民文化祭担当を配置した（正職員1人、臨時

職員 1 人)。

平成 24 年 6 月、笛吹市スコレーパリオ 1 階に、第 28 回国民文化祭笛吹市実行委員会事務局の事務室を開設した。

## 【学校教育課】

### 《指摘要望事項①》

地域ぐるみの学校安全体制整備事業で、学校の登下校における安全の取り組みの充実が行われているが、市内の通学路に工事関係車両などの大型車が通り、子どもが避けて通学する状況も見受けられる。通学時間帯には、通学路への大型車の進入禁止を警察に要請するなど、子どもたちを安全に通学させられる方策について、関係機関と協議願いたい。

### 《対応措置の内容》

通学路の安全確保については、危険箇所の抽出を行い、道路整備や交差点改良、信号機や横断歩道、グリーンベルトや注意喚起看板の設置など緊急性や実現性など、すぐに実現可能な事案は迅速な対応を行い、道路管理者や警察など関係機関の立会いによる事案は合同点検の実施及び対策案を作成し、その対策案が早期に実現できるように関係機関に強く働きかけていきます。また、児童・生徒への安全指導や通学路の変更なども必要に応じて措置を講じているところです。

さらに児童生徒の安心安全な学校生活の確保に向け、スクールガードリーダー活動の充実や安全安心メールの活用等、保護者や地域住民の目を子どもに向けさせると同時に、地域全体で子どもたちを見守るなど、地域と一体となった取り組みを一層充実させていきます。

## 【文化財課】

### 《指摘要望事項①》

春日居郷土館の博物館特別展開催事業について、展示品の選考については、協力をいただいている笛吹市の遺族会など、幅広い意見を取り入れる中で、より良い特別展が開催できるように努めること。

### 《対応措置の内容》

本年度、展示作業から撤去作業まで、遺族会の方々に係わっていただいた。

期間中は、受付などの対応、小学校の見学時の説明、館内催しとして、語り部の会、小さな映画会の開催にご協力いただいた。

### 《指摘要望事項②》

瑜伽寺十二神将の修理が今年度行われるが、お金をかけて修理しても所蔵場所が吹きさらしの状態である。保管の方法については、改善の方策を検討するとともに、他の文化財についても保存方法について点検を行うこと。

### 《対応措置の内容》

管理者が点検を実施。

### 《指摘要望事項③》

青楓美術館の入館者数確保については、努力されているところであるが、観光農園などと協力し、ぶどうの時期にフランスの田舎風景を表現するような催しを開催するなど、周辺地域と一緒にした美術館の魅力づくりについて検討すること。

### 《対応措置の内容》

今年度も青楓美術館では、春の桃の花まつり期間に合わせ県内外の観光客の方へ PR も含め、集客増に向けイベントを開催しました。秋には、やまなし観光推進機構主催の「ワインツーリズムやまなし」に参加し、紅葉したブドウ畑の雰囲気を楽しみながら来館してもらえるコースを設け県内外からの観光客にも PR を行っています。

地元協力の面においては、青楓美術館地元区長及び近隣区長を運営協議会委員に選出し、青楓作品の魅力地元から発信してもらおうよう協力を得ております。また、一宮北小学校では美術館でのマナーを学びながら作品鑑賞する学習を取り入れ、情操教育に役立ててもらっています。

情報発信については、新聞（美術館情報欄）への掲載を行っており、昨年度比較し入館者数は増えている状況です。引き続き笛吹市ホームページ及び笛吹観光ナビ等、インターネットも利用しながら最新の情報を提供し集客の努力を行ってまいります。

《指摘要望事項（伝票について）①》

電話料の起案日は、請求書が休日の場合は前日の日にすること。

《対応措置の内容》

指摘のとおり、休日の起案がないよう課内で再確認しました。

《指摘要望事項（伝票について）②》

検収調書の特記欄には立会った（納入した）業者名を記入しておくこと。

《対応措置の内容》

指摘のとおり、業者名を記入しています。

【図書館】

《指摘要望事項①》

図書館の本返却の延滞者への対応、無断持ち出し、本への落書きやいたずら等への対策が行われているところであるが、本は限られた予算の中で購入した貴重な市の財産であるので、引き続きこのような事案に対する対応について努力されたい。

《対応措置の内容》

図書館の本返却の延滞者への対応、無断持ち出し、本への落書きやいたずら等への対策

●図書館の本返却の延滞者への対応

→督促の葉書、電話、貸出時の注意を行っている。

●図書館の本の無断持ち出し対策

→職員がカウンターにいても、利用者の出入りの際には注意を払っている。随時の館内見回りも実施している。

●本への落書きやいたずら等への対策

→貸し出し・返却時に点検を実施し、注意や事故届の提出を求めている。

●事故届の提出や状況によっては弁償していただくことも有る。

●注意喚起のチラシの配布。

●悪質なケースなどでは貸出停止措置をとることも有る。

●汚破損の図書の展示

9 指定事項の回答について

本監査において、監査委員が指定した事項（指定事項調書）については、その現状及び今後の方針が以下のとおり回答された。

【教育総務課】

《指定事項①》

市内小中学校教室空調設備設置の進捗状況について

《現状及び今後の方針》

・現在までに小学校4校、中学校3校の計7校については電気式氷蓄熱エアコンの設置工事が終了し、夏休み明けより使用。

	教室数	契約金額	請負業者
石和西小	16	28,759,500	松山興業
御坂東小	6	9,999,999	キーチデンキ
一宮西小	14	26,056,800	小林電気工業
一宮北小	7	13,555,500	ティ・ディ・エス
一宮中	17	27,825,000	小山電気
浅川中	22	33,600,000	真栄電気
春日居中	6	12,064,500	エルテック
	88	151,861,299	

・残りの10校については、10月30日に入札され、ガス式エアコンの設置により年度内に完成予定。

## 【生涯学習課】

### 《指定事項①》

青少年育成事業（愛のパトロール、白ポスト回収、強調月間等）の進捗状況について  
《現状及び今後の方針》

#### 《現状》

青少年育成コーディネーターを中心に、子どもクラブ球技大会、体験活動、家庭教育支援、青少年育成推進協議会の運営を行っている。

#### 《開催内容》

○愛のパトロール 市及び各地区青少年推進協議会によるものが、24回、各行政区を中心に実施されたものが、170回となっている。後者は、主に夏休みに実施。

○白ポスト回収 隔月ごとに、6地区の青推協が持ち回りで回収している。今年度は既に3回実施し、投入図書・雑誌等の総冊数51点（ビデオ・DVD含む）で、うち有害と思われるものは41点であった。

○強調月間 強調月間は年2回あり、7月は青少年の非行・被害防止全国強調月間である。市及び各地区青少年推進協議会で、広報・啓発活動を実施。夏休みに向け、関係者の会議を開催した。また、市内のコンビニ、書店、カラオケ等の施設（68か所）を巡回し、有害図書等の環境調査を実施した。

○球技大会 春日居・芦川を除く5地区で地区大会を開催し、代表チーム（ソフト7チーム、ソフトバレー11チーム）により市大会を実施。市代表チーム（ソフト1、ソフトバレー2）が県大会に出場し、ソフトが3位、ソフトバレーが優勝と準優勝であった。

○体験活動 5月親子黒岳ハイキング（25名）、6月親子文化財巡り（23名を実施）。今後、ジュニアリーダーによる自然体験、親子工作教室などを開催予定。特に、今年度は、ジュニアリーダーの養成事業に重点を置いている。

○家庭教育支援 6地区にモデル地区を設定し、各々年間3回程度の事業を行う。また、家庭教育の講演会や講習会などを実施する団体に、補助金を支出する。

○青少年育成推進協議会 各地区と市に組織があり、それぞれ愛のパトロールや啓蒙活動を実施し、強調月間には講演会を実施するなど、子どもたちの健全育成を図っている。

### 《指定事項②》

国民文化祭開催に向けた進捗状況について

#### 《現状及び今後の方針》

##### 《これまでの経過》

平成19年10月24日、平成25年の山梨県開催が内定

平成23年4月19日、市町村主催事業が決定（笛吹市は、現代詩の祭典、文芸祭俳句大会、いさわ鶴飼、甲斐国千年の都の文化財巡り、いにしへの華ーやまなしの縄文の5事業）

平成23年6月～平成24年3月、スコレー大学「はじめての五・七・五 基礎から学ぶ俳句教室」を開催

平成24年4月～3月、スコレー大学「誰でも作れるおとなの詩の教室」を開催

平成23年7月6日、第28回国民文化祭笛吹市実行委員会設立

平成23年8月26日、俳句企画委員会設立（⇒平成24年6月29日までに8回開催）

平成23年8月30日、現代詩企画委員会設立（⇒平成24年10月11日までに8回開催）

平成23年8月～12月、事業別実施計画策定

平成24年4月、教育委員会生涯学習課内に国民文化祭担当配置（正職員1人、臨時職員1人）

平成24年4月17日、第28回国民文化祭笛吹市実行委員会第2回会議開催

平成24年6月8日、プレ事業NHK学園笛吹市俳句大会開催

平成24年7月23日、鶴飼企画委員会設立

平成24年7月24日、現代詩の祭典及び文芸祭俳句大会の賞設定・審査員についての文化庁事前協議

平成24年9月、笛吹市国民文化祭ホームページ開設

平成24年9月、第28回国民文化祭やまなし2013プレガイドブック作成

平成24年9月、国民文化祭地域情報コーナー（パンフスタンド）を市内20箇所に設置

## 【学校教育課】

### 《指定事項①》

通学路の危険箇所の状況把握と今後の改善予定等について  
《現状及び今後の方針》

通学路の安全確保については社会問題となり、例年の安全点検とは別に、学校や地域、地元警察署、行政の三者において、緊急合同点検を実施することとなりました。笛吹市では、学校教育課が主管課となり、学校、PTA、関係行政区代表者、笛吹警察署、道路管理者である県土木部や市建設部、市民環境部の関係者立会いの下、警察署から技術的な助言を得つつ合同点検を実施しました。これを受けて各校では、現在、具体的な対策案を検討しているところです。

市内の小中学校から抽出された危険箇所は89箇所、そのうち合同点検の必要箇所が49箇所あげられてきました。合同点検の実施を要しない40箇所については児童への指導、注意喚起看板など要望事項が比較的早期に実現可能な内容であったため、既に対応済み、または現在も対応中となっています。

今後について、学校に対しては、児童生徒への交通安全指導の徹底や通学路の変更などの措置をお願いしていきます。そして、笛吹警察署など関係各機関と緊急性や実現性などを相談しながら、実現可能な対策案には必要な処置を講じていきます。また、交差点改良や信号機の設置、横断歩道の設置等の要望については、早期に実現されるように公安委員会等に働きかけていきます。

## 【文化財課】

### 《指定事項①》

史跡甲斐国分寺・国分尼寺跡保存整備事業の進捗状況について  
《現状及び今後の方針》

国分寺主要伽藍整備をするための基礎データを得るために、講堂跡等で発掘調査を実施。国分寺講堂跡・西回廊跡の一部では、建物の大きさを砂で表示している。

## 【図書館】

### 《指定事項①》

図書館情報システム整備後のメリット、デメリットについて  
《現状及び今後の方針》

＜メリット＞

#### ●ハードについて

- ①合併時に導入したものであり、通常5年といわれている安定した保守の可能な期間を2年経過していたため、いつ復旧できなくなるような故障に見舞われるか分からないというリスクへの不安があったが、開放された。少なくとも、画面が固まってしまう事態はなくなったため、利用者を待たせることがなく安定的な運用が可能となった。
- ②サーバ・クライアントの性能が向上したため、処理速度がアップした。

#### ●ソフトについて

- ①新しいバージョンとなり、運用上の機能が追加された。
- ②レファレンス機能を追加したので、管理がシステムで行え、検索し易くなった。

#### ●学校図書館のシステム統合について

- ①サーバも統合したことにより、コストダウンが図られた。
- ②公共とも統合したことにより、公共と学校との間で職員の異動があった場合でも、新たに操作研修をしなくても運用できるようになった。
- ③相互貸借の資料のタイトル登録が不要になった。
- ④生徒画面からも市内（他校・公共）の蔵書検索が可能となり、相互貸借がし易くなった。
- ⑤日時処理・バックアップ作業が自動処理となり、作業が軽減された。

#### ●ネットワークについて

公共・学校間をネットワークで結んだことにより、学校間だけでなく、公共図書館とも情報の共有化ができ、相互の図書の貸し借りがし易くなった。

#### ●新しい機能

住基カードを図書館カードとして使える仕組みを導入した（利用者の選択制）ことによ



り、カードをたくさん持ち歩かなくても済むようになり、来館者の利便性が高まった。

<デメリット>

●特になし